

栄養プロフィール パラオ

2019年12月20日更新

栄養分野国家政策/計画（その1）

栄養関連政策・制度・規制

タイトル	位置付け	要旨
Non-communicable Disease Prevention and Control Strategic Plan of Action 2015-2020 （NCD戦略計画）	非感染性疾病の予防と管理のための国家戦略計画	<ul style="list-style-type: none"> 「長寿で幸せで生きがいを持つ人々による健康的なパラオ」をビジョンとし、予防可能なNCD負荷の削減を長期目標として掲げている。 5分野：①たばこコントロール、②有害なアルコール摂取削減、③栄養の向上、④身体活動の向上、⑤NCD有病率削減において、それぞれサブビジョン、目標、ターゲット指標を設定している。 ③栄養の向上については、「母乳育児推進と現地食材での十分な栄養摂取」をサブビジョンとし、全体的な栄養の向上を目的としている。ターゲット指標と戦略行動は下記の通り <ol style="list-style-type: none"> 2015年までに、パラオの全体的な栄養改善活動に取り組むために、マルチセクターのワーキンググループを設立する：Ulekerreuil a Klengar/NCD対策組織（UAK）栄養ワーキンググループについて、メンバー、活動について決定し、正式化する。 2020年までに、食塩摂取量を30%削減する：食品中の塩分、塩分摂取量、行動等についてのベースライン調査の実施。過剰塩分摂取の危険性、消費を減らすための健康的な代替策についての啓発活動の実施。公立と私立のすべての学校における健康的な食事提供を義務化する学校方針の検討。塩分、脂肪、糖分の多い輸入食品に対する課税。健康食品の供給業者の増加。輸入食品の栄養成分の英語表示、現地生産食品の英語またはパラオ語による材料表示。 2020年までに、果物と野菜の摂取量を50%増加する：地元の農業プロジェクトのための公有地の確保。農業プロジェクト支援および果物や野菜の現地生産への助成のための資金確保。果物や野菜消費の重要性の啓発（パラオフードガイドラインの作成・配布、広報資料やメディアキャンペーンによる啓発等）。学校菜園の支援。 2020年までに、生後6か月までの母乳育児を50%増加する：ベースライン調査の実施。母乳の利点について母親への啓発活動の実施。産後休暇の6か月までの延長や母乳育児を実施する母親支援のための政策策定。母乳育児を推進し実施可能とする母子センター政策策定。
Ministry of Health Strategic Plan 2014-2018	保健セクター戦略	<ul style="list-style-type: none"> 質が高く包括的で根拠に基づいたアクセス可能な保健サービスを患者とコミュニティに提供することを目的としている。戦略として、①患者中心の病院サービスの提供、②予防に関するサービスの提供、③効果的なパートナーシップの構築、④人々を大切にした成長と発展の支援、⑤管理や支援サービスの説明責任と継続性の確保としている。 ②予防に関するサービスでは、疾病予防と早期介入によるインパクトを最大化すべく、根拠に基づいたサービス提供、効果的なコミュニケーション戦略の開発と実施、ベースライン調査を基にモニタリング・評価のための指標を設定することとしている。また、慢性疾患による影響を削減するとしている。

栄養分野国家政策/計画（その1）

栄養関連政策・制度・規制

タイトル	位置付け	要旨
National Policy to Strengthen Resilience in Aquaculture and Agriculture	食料安全保障	<ul style="list-style-type: none"> • 2015年作成。地元食料生産の増加のための政策と行動計画。 • 2020年までに必要な食料の50%を地元生産する、2025年には80%とすることを目標にしている。 • 制度、エコシステム、コミュニティ、経済のそれぞれの強靭性を目標と戦略にしている。 • その他、食料安全保障に関する事項として以下を実施している。 • 2016年にPALARIS (Palau Automated Land and Resource Information System) による農場マッピングの実施 • 天然資源・環境・観光省の農業局による養豚プロジェクトの実施 • 政府と市民社会の協同による耐塩性および耐乾性作物の品種の特定 • 女性コミュニティグループによるタロパッチ（タロイモの水田）修復の取り組み • 国立開発銀行を通じた農業と養殖に対する低金利融資支援 • 農業局による研究および普及サービス • パラオの排他的経済水域の20%を国内漁業に指定する国立海洋保護区の設立。 • 持続可能性に対して、伝統的にパラオ女性の領域であるところに外国人（アジア人）男性が参入し支配することにより、パラオ女性の領域が奪われてしまうことが危惧されている。
National Development Strategy 1996 -2020	国家開発戦略	<ul style="list-style-type: none"> • 経済の持続性に主眼をおき、環境及び文化の保存・維持を目標としている。

基本データ：一般概況

一般概況

指標	数値	項目	概要
人口	約1.8万人 (2018年、世界銀行)	面積 ¹⁾	488km ² (屋久島とほぼ同じ)
人口密度	38.93人/km ² (2018年、世界銀行)	気候 ²⁾	熱帯海洋性気候で気温年較差はほとんどない。雨季は7～11月でスコール性の雨が降り台風の襲来も多い。年間降水量は3000～4000mm程度。
人口増加率	0.55% (2018年、世銀)	地形 ²⁾	ミクロネシア西端に位置し、火山島や隆起サンゴ礁など約200の島嶼からなる国。現地ではベラウともよばれる。北部にバベルトゥアップ島など4火山島、南部にペリリュウ島などのサンゴ礁がある。
合計特殊出生率	2.21人 (2015年、世界銀行)	民族構成 ¹⁾	ミクロネシア系
平均寿命	No Data	言語 ¹⁾	パラオ語、英語
5歳未満児死亡率	17.9対出生1,000 (2018年、世界銀行)	宗教 ¹⁾	キリスト教
1歳未満死亡率	16.6対出生1,000 (2018年、世界銀行)	一人当たりGDP	15,859.4米ドル (2018年、世界銀行)
Human Capital Index	No Data	主要産業 ^{1) 2)}	観光、農業 (コプラ、タロイモ、キャッサバ)、近代漁業、米国からの援助に依存。
Doing Business ランキング	145位 (2019年、世界銀行)	略史 ¹⁾	西・米の統治を経て1994年に米国との間で自由連合盟約 (コンパクト) 発効、独立・国連加盟。「良いものは残し、そうでないものは改革しよう」というスローガンの下に緊縮財政を実施し、財政赤字の削減に取り組んできたが、依然として財政・経済とも外国からの援助に大幅に依存しており、自立経済達成は困難な状況にある。

1) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>

2) <http://atlas.cdx.jp/index.htm>

基本データ： 栄養状態

栄養指標	数値	解説	調査名/出典
低出生体重児（2,500g未満） （2017年）	10%（平均）	<ul style="list-style-type: none"> 年間出産数が少ない（年平均229件）ため、年度によって異なる。噛みたばこ（ビンロウジ）を使用している妊婦は1.7倍リスクが高い。 	Pathway to 2030 / UNDP 2019
5歳未満児の低栄養 発育障害（慢性栄養不良） 消耗症（急性栄養不良）	No Data		
5歳未満児の過体重	No Data		
学童・青少年（5-19歳）の 低体重（2016年） 過体重（2016年） 肥満（2016年）	女子：0.7% 男子：1.0% 女子：66.7% 男子：60.6% 女子：31.0% 男子：31.9%	<ul style="list-style-type: none"> 2000年と比較して低体重の割合は男女ともに減少傾向にある。 過体重では、男子よりも女子の方が多い。 過体重と肥満の割合は男女ともに2000年より増加し男女ともに過体重は約1.5倍、肥満は約2倍増加している。 	Global Nutrition Report 2019
大人の過体重（2016年） 大人の肥満（2016年）	女性：85.9% 男性：84.3% 女性：58.8% 男性：51.8%	<ul style="list-style-type: none"> 2000年と比較して男女ともに過体重・肥満の割合が増加している。 男性よりも女性の割合が高い。 男性の肥満は2000年の39.3%から1.3倍増加している。 	
大人の糖尿病の割合（2014年） 高血圧の割合（2015年） 塩分摂取量（2017年）	女性：21.6% 男性：24.8% 女性：20.0% 男性：25.7% No data	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病の割合は、2002年より男女ともに増加傾向にある。 高血圧は減少傾向にある。 塩分摂取量は世界平均の5.6g/日より低い。 	
女性の低体重（2016年）	1%	<ul style="list-style-type: none"> 女性の低体重（低栄養）の割合は低い。 	UNICEF 2019

基本データ： 栄養・食物摂取行動

栄養状況 ・ 課題

栄養指標	数値	解説	調査名/出典
生後6カ月の完全母乳育児率	No Data		Global Nutrition Report 2019
最低食事水準を満たすこども（生後6-23ヵ月）の割合 ^{注1} （2013-2018年） ①最低食事頻度基準を満たすこども ②最低食事多様性基準を満たすこども	No Data		UNICEF the state of the worlds children 2019
おとな（25-64歳）の野菜や果物の摂取 4単位以下 全体 男性 女性 (WHO STEPS 2011-13年)	92% 94% 90%	<ul style="list-style-type: none"> WHOは野菜や果物摂取について400g/日または1単位80g×5回を推奨している（じゃがいもやキャッサバなどの塊茎類は除く）。 90%以上がWHO推奨基準に満たしていない。 	Non-communicable Disease Prevention and Control Strategic Plan of Action 2015- 2020
こども（5歳未満）の貧血（1993-2005年） こども（6歳未満）のビタミンA欠乏症（1995年-2005年）	22.0% 8.9%	<ul style="list-style-type: none"> こどもの貧血の割合は高い。 	FAO
貧血（1993-2005年） 女性（15-49歳） 妊婦 非妊婦	21.0% 27.0%	<ul style="list-style-type: none"> WHOの定義によると、公衆衛生上、中程度の問題レベルにある（40%以上は重度の問題） 	
ヨード添加塩を使用している世帯の割合： 全国（1998年） 都市部 農村部	9.0% No Data No Data		WHO Nlis

注1：最低食事水準=Minimum Acceptable Diet: WHO/UNICEFが定義する一日の食事回数と摂取食品多様性の最低基準を両方満たしている生後6-23ヵ月のこども。

基本データ： 食物消費・食料安全保障

食料安全保障状況・課題

指標	数値	解説	調査名/出典
世界飢餓指数 (Global Hanger Index : GHI)	No Data		https://www.globalhungerindex.org/results.html
世界食料安全保障指数 (Global Food Security Index : GFSI)	No Data		http://foodsecurityindex.eiu.com/
1人1日あたりの食事からのエネルギー摂取量	No Data		
炭水化物以外からの摂取エネルギーの割合	No Data		
食事エネルギー供給量充足度	No Data		FAOSTAT http://www.fao.org/faostat/
たんぱく質摂取量中の動物性たんぱく源の割合	No Data		

基本データ： 関連セクターの状況（教育、水衛生）等

栄養を取り巻く状況・課題

栄養指標	数値	解説	調査名/出典
安全な水へのアクセス	全体 100% (2017)	<ul style="list-style-type: none"> 2015年以降、安全な水と衛生設備へのアクセスは100%となったため、栄養失調のリスク要因となっているとは考えにくい。 	FAO STAT
安全な衛生設備（トイレ）へのアクセス	全体 100% (2017)		
野外排泄	No Data		
基本的な手洗い設備 ^{注3}	No Data		WHO UNICEF JMP https://washdata.org/data/household#!/
小学校純就学率 (2014)	94.9%	小学校純就学率水準は高いといえる。男女差のデータはなし。	
中学校純就学率 (2014)	56.7%	中学校純就学率は、小学校純就学率から、約40%減少する。男女さのデータはなし。	UNESCO Institute of Statistics http://data.uis.unesco.org/
識字率 (2015) 15-24歳 25-64歳 65歳以上	98.7% (女性99.1%, 男性98.2%) 97.6% (女性99.7%, 男性97.2%) 84.7% (女性81.3%, 男性89.6%)	15-64歳のほぼ全ての人口が性別に関わらず文字が読める。65歳以上の人口の大半が文字を読めるが、その割合は男性に対し女性が8%ほど低い。	

*安全な水=改善された水源（配管給水、深井戸、保護された浅井戸・湧水、雨水等）からの水で、敷地内で入手可能な場合（safely managed）と水汲みに要する時間が30分以内の場合（basic）を含む。

*安全な衛生設備=改善された衛生設備（排泄物を衛生的に処理し、人間に接触することを防ぐトイレ設備）が、他の世帯と共有せず使用されている場合。

注3：自宅に石けんと水を備えた手洗い用の設備があること。

栄養セクターの主要な課題

栄養状況 ・ 課題

課題	解説	出典
非感染性疾患 (NCD)	NCDは死因の73% (2004年) を占めておりパラオの平均寿命を押し下げている。心疾患、脳卒中、がんは、労働人口者に多く、早期死亡や生産性の損失、NCDによる医療費により健康と社会経済の発展を損なう恐れがある。 国際化や都市化といった環境変化は、喫煙やアルコール消費、不健康な食事、不十分な身体活動といった不健康なライフスタイルをもたらし、これらの行動が高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満の原因となり、慢性疾患の危険因子となっている。	NCD戦略計画
栄養不良	糖尿病と肥満の増加を止めることが国際目標として設定されているが、男女ともに糖尿病と肥満者数は増加し続けている。また、国際栄養指標となっている5歳未満の過体重、発育障害、消耗症、生後6ヵ月までの完全母乳、出産可能年齢の女性の貧血および低出生体重児についてのデータが不十分となっている。	Global Nutrition Report 2019
食料	Household Income and Expenditure Survey (HIES, 2014) 料への支出の86%が輸入食品であり、栄養の質が低い。残りの14%が地元で生産された食品への支出であった (自家消費のための食料生産も含む)。災害等により船の運航が妨げられると食料供給システムが破壊される恐れがある。塩水侵入によりタロイモの生産量は毎年平均6%少なくなっており、気候変動が食料安全保障に影響を及ぼしている。パラオの農業・水産業政策では2020年までに必要量の50%を地元生産とするとしているが、測定データが不十分となっている。2019年の報告書によると生産量はやや増加している。食料生産の低さには、耕作地の不足や土地へのアクセスの難しさ、オリエンタルミバエ (害虫) の蔓延、不十分な土地利用計画、若者の農業への無関心等の多くの理由があるが、最も重要な要因は、輸入に対する現地生産のコストの高さにある。	Pathway to 2030 / UNDP 2019

その他の特徴

特徴	解説
環境汚染	外国資本の流入と労働者の増加により、適切な下水処理のための土地が不十分であることによる水質汚染や、産業開発による空気汚染や海洋汚染も懸念されている。これらは健康に害を及ぼす影響がある。
人材育成	教育機会 (職業教育・高等教育) が限られていることにより人材不足や近隣先進国への優秀な人材の流出が深刻な問題となっており、人材育成強化が社会・経済発展には不可欠となっている。

既存の栄養関連データベース・情報源

栄養・食料安全保障状況 データソース

データ	解説	出典
計画&統計部門ウェブサイト	<ul style="list-style-type: none"> 財務省局内に予算&計画局があり、予算管理部門と計画&統計部門に分かれている。 統計データとして、国勢調査の地域・年齢別人口の年次推移や基本的な死亡率指標等が掲載されている。その他、経済、環境に関する報告書やデータが掲載されている。 	https://www.palau.gov.pw/budgetandplanning
保健省ウェブサイト	<ul style="list-style-type: none"> 戦略計画やニュースレター等掲載されている。年次報告書は2014年が最新となっている。 Hybrid Survey Reportが2017年に作成されており、高血圧や糖尿病、たばこ、やアルコール、がんのスクリーニング検査受診の有無等のNCD関連の指標について世帯調査の結果がまとめられている。 	http://www.palauhealth.org/default.aspx
STEPS Survey Report	<ul style="list-style-type: none"> WHOの非感染性疾患（NCD）のリスク要因サーベイランス NCDのリスク要因評価のステップとして、アンケート、身体測定、生化学的検査を実施している。 パラオにおいては、2013年が最新の調査結果となる。 	WHO https://www.who.int/ncds/surveillance/steps/en/
NLIS (Nutrition Landscape Information System) Country Profile	<ul style="list-style-type: none"> 各国における栄養状態を、主にこども、女性、微量栄養素、食糧の安全保障などの指標を提示。 ただし、パラオについての情報は少ない。 	WHO https://www.who.int/nutrition/nlis/en/
Global Nutrition Report / GNR Nutrition Country Profile	<ul style="list-style-type: none"> 過体重・肥満や糖尿病などの、高血圧といった非感染性疾患に関連する指標を提示。 各国の栄養状態、及びその要因についてのまとめ。 経済指標や保健指標のほか、食物供給、水と衛生、保健財政についてまとめる。ただし、パラオについての情報は不十分。 	Global Nutrition Report https://globalnutritionreport.org/
FAO Food and Nutrition Security Profile/ FAO STATS	<ul style="list-style-type: none"> 食料保障・栄養保障の観点からのデータを提示。 例えば食事エネルギー供給量、各作物の収穫量、安全な水・衛生設備へのアクセス等の情報がある。 ただし、パラオについての情報は不十分。 	FAO http://www.fao.org/faostat/en/#home

国家栄養事業調整組織

組織/委員会	位置づけ	概要・状況
Ministry of Health	保健省	<ul style="list-style-type: none"> 保健省は、病院・クリニカルサービス局、公衆衛生局、看護サービス局、病院管理・サポートサービス局の4つに大きく分かれており、各局に各部門が設置されている。栄養に特化した部門はなく公衆衛生局がその業務を担っている。NCD戦略計画によると栄養を含めた保健戦略の主導機関は保健省となっている。
National Coordinating Mechanism	非感染性疾患を対象とする新しい国家調整メカニズム（たばこ規制を除く） ※たばこについては別途設立済み	<ul style="list-style-type: none"> 2015年設立、大統領令No.379 保健省主導、メンバーは各省庁、パラオコミュニティ大学、ヘルスケア基金、大統領官邸からの代表者で構成 市民社会、NGOs、民間セクター、他機関とも連携 たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約（WHO Framework Convention on Tobacco Control : FCTC）や保健セクター戦略、国家開発計画と連動したNCDs対策の促進、年次計画の開発、定期的なモニタリング・評価・報告の調整、メンバーのキャパシティビルディング促進など
Ulekerreuil a Klengar/NCD対策組織 (UAK)	NCD対策組織	<ul style="list-style-type: none"> 戦略別（たばこ、アルコール、栄養、身体活動等）に活動 UAKとPCAA（Palau Community Action Agency）は学校での栄養改善、学校菜園に取り組んでいる。2011年の大統領令No.372により、教育省と保健省が身体活動・健康・栄養教育に協同することが義務付けられた。 低額で新鮮な野菜を摂取できるようにテーブル菜園の実施をコミュニティで進めている。
nutrition working group	栄養ワーキンググループ	<ul style="list-style-type: none"> NCD戦略計画によると上記国家調整メカニズム設立後に結成予定と記載されている。
Community Health Center Office (CHC)	コミュニティヘルスセンター	<ul style="list-style-type: none"> アウトリーチを実施している。

マルチセクター栄養改善 実施体制

栄養関連国家レベル事業の概要と実施体制

主なマルチセクター栄養事業

主要事業	事業概要	実施体制
Country Programming Framework	<ul style="list-style-type: none"> 健康的な食事や強靱な生計維持のため国内の栄養価の高い食料生産の増加を目的とする。①安全で健康的な食料の消費や生産を促進するような根拠に基づいた提言の作成、②持続可能で気候変動に対応可能な農業、魚業、林業における強靱な生産システムの確立、③フードコントロール、ビジネスの実施、安全で栄養価が高く手頃な価格の食料を供給する効率的なフードバリューチェーンの促進を成果としている。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業局、水産局、統計局 FAO
Building Prosperity for Women Producers, Processors, and Women Owned Businesses through Organic Value Chains	<ul style="list-style-type: none"> 2018年-2022年実施。Pacific Community/Pacific Organic and Ethical Trade Community (POETCom) とオーストラリア政府間でプロジェクト形成された。Pacific Women Shaping Pacific Development programmeの中のプロジェクトとなる。 オーガニックバリューチェーンの開発により女性の経済的なエンパワメントを促進している。期待される成果は、①女性の経済的自立と家庭内の意思決定への影響力を高める、②女性による意思決定プロセスを含むオーガニックバリューチェーンへの参加、③実行可能な有機バリューチェーンにより市場ニーズを満たし、食料の安全性を高める、④パシフィックオーガニックセクターにより多くのジェンダー平等な政策と実践が蓄積される。 技術支援は①個人・ビジネス研修、②バリューチェーンの分析・技術支援、③パシフィックオーガニックスタンダードの更新、④オーガニック農家/栽培者協会への支援、⑤根拠に基づいた実践、好事例の確立の5つのコンポーネントで実施。 マーシャル諸島、ミクロネシ連邦、パラオ、キリバス間で実施。 パラオは女性が伝統的に権力を保持し男性とも平等な母系社会であり、女性が事業を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> Australian ODA Pacific Community POETCom Palau Organic Growers Association
Horticulture and Nutrition Enhancement Project 2016-2018年	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトでは栄養不良を改善するため、健康的な食事習慣と持続可能な野菜や果物の現地生産に取り組んだ。活動内容は以下の通り。 一年中、15種類以上の野菜や果物を生産できるように学校菜園の支援、学校での栄養教育 30種類以上の野菜や果物の栽培品種に及ぶ栽培技術の開発 料理コンテストを開催、コンテストのレシピに基づいた地元の野菜料理の本を開発 果物と野菜の栽培に関する年間ガイドの作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 農林局 台湾財団法人台湾国際合作発展基金 (ICDF: International Cooperation and Development Fund)
Country Cooperation Strategy 2018-2022	WHOの重点分野は、①質が高くアクセス可能なNCD予防と病院でのNCDサービスの提供、②海外の新卒者に対する既存のフェローシップとインターンシッププログラムを通じた保健人材の効果的な管理と支援、③コミュニティの役割強化としている。	<ul style="list-style-type: none"> WHO (WPRO)

主な事業：

栄養補助食品、微量栄養素、職場栄養改善、学校給食、病院給食、農業・フードバリューチェーン

栄養分野の主な民間連携事業・
ビジネスモデル

事業	事業概要/現況	実施体制